ISSN 0385-1281

邦楽現代

PRO MUSICA NIPPONIA

第22号 1989年 22 春

日本音楽集団 創立25周年記念特別号

年表 日本音楽集団25年の歩み

ごあいさつ

長沢　勝俊（日本音楽集団代表）

一九六四年十一月十七日、日本音楽集団の第一回定期演奏会が第一生命ホールでおこなわれました。

それは冷たい風が都心の濠端に舞う、晩秋の夜でした。

この年の四月に、私たち十四名は「私たちの伝統楽器で現代に生きる音楽を創ろう」と、流派を超えて集まり、日本音楽集団を結成しました。

そして半年後、いよいよ、私たちが初めて自分たちの主張を、自分たちの表現方法で、皆様方に聴いていただく第一回演奏会にこぎつけたのですから、興奮と不安と期待に満ちたこの夜のことは、いまでも私の胸に熱い思いとして生きつづけています。

当日は初演を含む六曲のプログラムで、今からいえば必ずしも充分な出来とはいえなかったかもしれませんが、ホールを埋めた聴衆の反応からは、たしかな手応えを得ることができたと思っております。

今回、この集団結成二十五周年を迎えるにあたり、私たちの歩んできた道を見つめなおすとともに、皆さまにも知って頂きたいという願いをこめて、小冊子を出すことにいたしました。これは、集団の二十五年史というような大げさなものではなく、集団の演奏会を主とする創作活動や事業などを中心に、年代を追ってドキュメント風に記述したものです。

集団の活動は定期演奏会を中心に、各地方自治体や文化団体主催の公演、中・高校の音楽鑑賞教室、サロンコンサート等多方面にわたっております。また一九七二年より始められた海外公演もすでに十四次に及び、集団の大きな活力源の一端をになってきました。

いま、二十五年間をふり返ってみて、ひとことでいえば「よくぞここまで」との感慨で一杯です。

この年表の編集にたずさわった団員は、この二十五年間、集団のなしとげてきた仕事の重みをあらためて痛感するとともに、今までに寄せられた多くの皆さま方の励ましや期待のことばを、もう一度深くかみしめております。

個性豊かな邦楽器の世界には、独奏にまた合奏にと、まだまだ魅力のある組合せや、さまざまな手法があるはずです。これらの可能性を掘りおこし、新しい息吹を与えることこそ、これからの私たちの重大な使命の一つであると自覚しております。

現代は激しいいきおいで動いています。二十一世紀にむかって、初期の目的を堅持しつつ、新たなるエネルギーを拡充して活力ある活動を展開することができるかどうか、私たちにとって、これからが正念場であるとも思っています。

ソロからゾリステン、そして大合奏という私たちのかかげた壮大な旗印に恥じないよう、創立二十五周年を機会に団員一同さらに心をひきしめ、音楽創造の道に邁進していく決意であります。

今後ともよろしく御批判、御指導を頂けますようお願い申しあげます。

■ 日本音楽集団結成のごあいさつ

拝啓　春暖の候、貴下ますますご清祥のこととお慶び申しあげます。

さて、私たちはこのたび「日本音楽集団」を結成いたしました。この集団は日本の音楽を愛し、よりよく発展させたいと願う演奏家と作曲家の集まりであります。

私たちがこの集団を結成する直接の動機になったのは、昨年5月、第一生命ホールにおいて催した「第二回　東京尺八三重奏団」の演奏会でありました。この演奏会において私たちは尺八をはじめとする多くの邦楽器、打楽器、それに合唱を加えた数々の新しい作品を演奏し、聴衆に大きな感銘を与えることができました。それは邦楽、洋楽の別を問わず、あるいは専門家、一般愛好家の別を問わず、すべての聴衆にとってまったく新しい感動であったのです。

そしてなによりも人々の心を打ったのは、日本の楽器による合奏が十分に音楽的であり、現代的な感覚をもつ一方、大きな民族的な昂奮をもたらしたということなのであります。

これは、この演奏会に携わった私たち一同に強い自信と誇りとをもたらしました。

そこで私たちはこの新しい芽ばえ――日本の楽器を中心素材とし、現代の感覚をもった音楽がわれわれ日本人の民族的な自覚を促がすということ――をさらに育てあげ、すべての人のものとするために、この「日本音楽集団」を結成いたしました。私たちは日本の音楽の伝統を十分に尊重し、その魂を学びとりながら、流派やしきたりにこだわらず、新しい日本の音楽を作るために大いに努力して参りたいと考えております。

つきましては今回下記の通り演奏会を催して研究の成果を世に問うことになりました。ぜひ御来駕の上ご高評くださいますようお願い申しあげます。

5月20日　　第三回東京尺八三重奏団演奏会（日本音楽集団協賛）
11月17日　　第一回日本音楽集団演奏会（芸術祭参加予定）　　以上　いずれも第一生命ホール

なお、これらの演奏会のために、清瀬保二氏が新しい作品を書いて下さり、また、三木稔作曲"奄美の旋律による邦楽器と混声合唱のためのバラード「くるだんど」"（第11回民放祭受賞作品）などを演奏の予定であります。

どうか私たちの新しい意欲をお汲みとり下さいまして、今後とも私たちの活動に深いご理解とご支援ご鞭達を賜わりますようお願い申しあげます。

敬　具

昭和39年4月

日　本　音　楽　集　団

事務所＝東京都新宿区百人町2－211 大和ビル　KK東京音楽社内　電話(368)8060
練習所＝東京都大田区久ケ原457　久ケ原クラブ　電話(791)0064

■ 集団同人

村岡　実（尺八）
大正12年宮崎県に生る。昭和16年都山流入門。民謡を菊地流水都に学ぶ。昭和34年より都山流を離れ、独自の尺八音楽に専念。昭和36年東京尺八三重奏団を結成。主にレコード・放送・映画音楽などの尺八音楽関係に専心している。

杉浦弘和（三絃）
昭和10年3月生れ。昭和28年芸大邦楽科入学。昭和32年芸大邦楽研究科入学。長唄東音会発足と同時に入会。昭和35年芸大邦楽科副手就任に生る。昭和34年、36年邦楽コンクール作曲部門第二部一位となる。主要作品「三絃の三絃のための習作」「琴・三絃による二重奏」ほか。

山田美喜子（箏）
石川県立白北第一高等女学校卒業。同校家政科および研究科卒業。8才より箏（生田流）を10才より長唄琴を学ぶ。のち宮城道雄門入となる。現在宮城社師範。さらに箏美会を結成し、門人の養成にいそしむかたわら、女学生時代に学んだバイオリン・オルガンを基に現代びわを研究。その著者として、TVその他で活躍している。

横山千秋（指揮）
昭和6年9月青森市に生る。昭和31年芸大卒業。昭和27年より斎藤秀雄氏に指揮法を学び、日本青年交響楽団、群馬フィルハーモニー交響楽団を指揮。昭和36年東京混声合唱団を指揮してオペレーション、労音・放送などで活躍。その後フリーとなり、邦人作品の演奏、紹介に努めている。現在、日本合唱指揮者協会幹事長。

元橋康男（作曲）
昭和11年1月東京に生る。日大芸術学部卒業。第29回新人演奏会に作品『木遣による歌とピアノのための断章』を発表して室内楽にデビュー。主要作品：交声曲「能登節」幻想曲「日本の絵」、交声曲「マリモ」「尺八とピアノの為の幻想曲」ほか。

横山勝也（尺八）
昭和5年12月静岡県に生る。琴笛・篠笛・能管を学ぶ。昭和34年上京。昭和35年、海東京流氏に師事。昭和35年NHK邦楽育成会卒業。昭和37年世界平和友好祭ヘルシンキ大会に参加。昭和39年現在代々木に楽器店を開くかたわら、演奏活動をしている。東京尺八三重奏団に所属。

上泰郷輝美枝（箏）
北海道小樽市に生る。5才の頃より山田流箏曲を学び、後生田流に転向。昭和31年芸大邦楽科卒業。故宮城道雄・宮城喜代子・宮城徳松尾恵子の各氏に師事。昭和34年ウイーンでの世界青年平和友好祭に参加し、民族音楽コンクールに入賞。

宮本幸子（十七絃）
北海道旭川市に生る。旭川にて小原柳雅氏に師事。昭和31年上京。京流邦楽会に入門。昭和35年邦楽コンクール演奏部門3位入賞。昭和39年第一回オペラ国際民族芸術祭参加。現在京流邦楽会師範。京流小梅社員。京流音楽院教授。

長沢勝俊（作曲）
大正12年東京に生る。昭和24年日大芸術学部中退。昭和24年人形劇団ポーポに入団。人形劇の作曲を始める。後青年の会に入会。大橋和子、清瀬保二氏に師事。昭和37年人形劇フェスティバル参加のための渡欧。ヨーロッパ各国を巡演。主要作品「合唱曲能踊りのはじまり」「フルートとピアノのためのソナタ」ほか。

鞍掛昭二（ディレクター）
昭和4年東京生れ。昭和32年芸大演劇科卒業。音楽自出業を目標に幅広い音楽活動をめざしている。フィルム系専属ディレクター。

宮田耕八朗（尺八）
昭和13年東京都に生る。昭和31年都立豊田谷工業高校卒業。昭和36年宮城宗内楽部入門。現在月光で後進の指導にあたるかたわら東京尺八三重奏団に所属。

山内喜美子（箏）
石川県金沢市に生る。5才の頃より生田流箏曲を学ぶ。昭和27年芸大邦楽科卒業。宮城道雄、宮城喜代子の各氏に師事。ジャズ・映画音楽などのあらゆる分野に琴をとり入れ、レコード・放送などで活躍している。

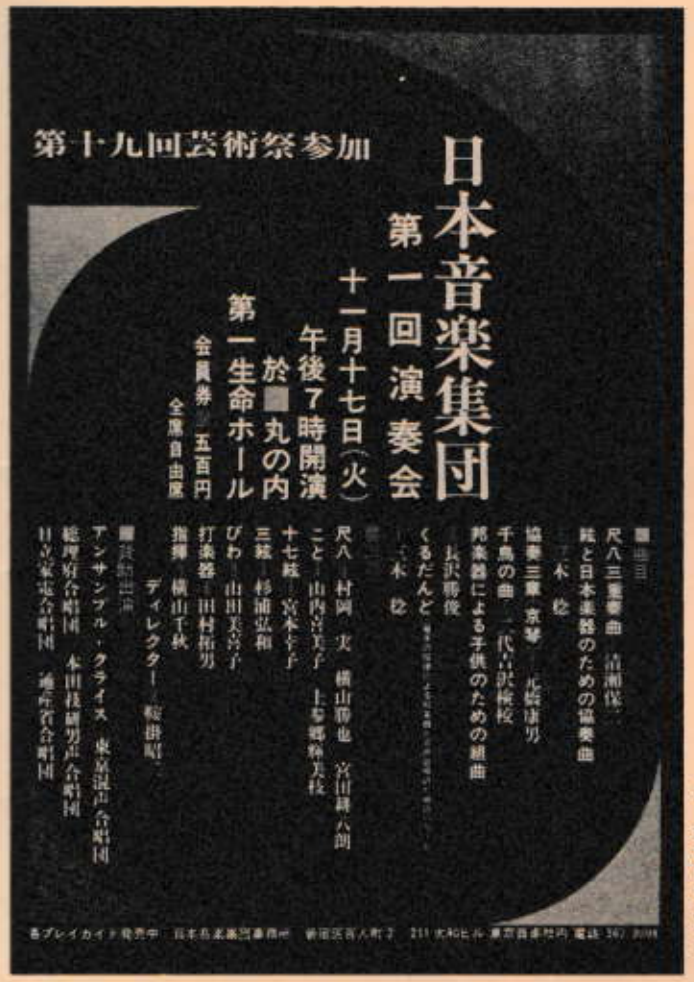
田村拓男（打楽器）
昭和10年広島県に生る。芸大委託生として2年間修業。マリンバを柴田高一氏、打楽器を小宅幸雄氏に、ピアノを滝崎鉄代子氏に師事。元東フィル団員。昭和37年10月独奏会を開く。現在東京マリンバグループ会員。東京放送管弦楽団所属。

三木　稔（作曲）
昭和6年3月香川県に生る。昭和30年、芸大作曲科卒業。慶応義塾大学、伊藤郁男の演出に師事。主要作品：「トリエタ・シンフォニカ」（NHK芸術祭入賞）「バリトン独唱と男声合唱およびオーケストラによるルクイエム」「くるだんど――奄美の旋律による邦楽器と混声合唱のためのバラード」（第11回民放祭受賞）ほか。

■ マネージメント

東京音楽社
代表　内藤克洋
東京都新宿区百人町2～211
大和ビル　TEL(368)8060

年	月・日	年表
1964	4・1	日本音楽集団結成
	10・1	合宿練習　大山（伊勢原市）にて
	10・10	（東京オリンピック開催）
	11・17	第一回定期演奏会（第一生命ホール）「子供のための組曲」（長沢勝俊作曲）初演「弦と日本楽器のための協奏曲」（三木稔作曲）初演



第1回定期のポスター

■　第一回の演奏会にあたって

我が国にヨーロッパの音楽が伝えられたのはやっと百年前の事です。その頃のヨーロッパは、すでにバロックもクラシックも衰退し、ロマンティシズムが歌歌され、めざましい国民音楽が各国で花を咲かせる時代でありました。セシル・グレイの論説をかりれば、音楽がすべての芸術に君臨する絶頂の真只中にあったわけです。

したがって、明治以降の日本が激化されながら進化して行ったその後の百年は、世界の文化史の中で音楽芸術がおとろえながら王座の地位を奪の芸術――例えば、バレエや映画に譲り渡して行った歴史と照合わせするという、悲劇的、いや喜劇的な様相を持っていると解釈する事もできます。

この百年の進化とヨーロッパの音楽芸術の衰退という、相反する潮流に巻き込まれて日本の現代音楽は、その本来の歴史も土壌も見失なったまま、いかに病弊な転落を繰り返している事でしょう。借りもののヨーロッパの尺度を無条件に日本の音楽にあてはめようとしたこの失敗を反省し、真摯の間に新＊しく音楽の花を咲かせるためには、たとえ百年という長い時計の歩幅を止めても、国民音楽の芽を抜き脱皮しなければなりません。この緑美しく水清らかな風土と関じく、永い歴史の中に育まれてはいるものの、誇るべき固有の音楽的土壌はすでにあるのです。

日本音楽集団結成の目的は、そのような実践的環境たる事にあります。尺八や琴や三絃のように、優秀な楽器を大きなアンサンブルの相貌に醸しかえよう、そのためには品種改良にも耐え、温室からも出よう、例様万の発明もうんと吸収しようと思うのです。

西欧の音楽はかつての大らかな全盛の時を終えて、今ますます個人的な暗い傍に沈潜しようとしています。私達は中国の音楽生活の推移などともにらみ合わせて、ここに重大な意味の可能性を感じています。詩人セシル・グレイの芸術循環論はヨーロッパの宿命ではあっても、新しい東洋には通じません。一つの文化圏が行きづまった時には、なかなか自力では歴史を変える事ができないようです。桃山やヘレニズムの故事が教えるように、今アジアやアフリカのどこかで強大な文化の出現が新潮流と共に期待されるのです。

私達はいわゆる邦楽にしても洋楽にしても、音楽本来の姿のものは、すべて肯定します。その反面、四畳半的なものや効果に徳した音楽本来の美せ芸術は徹底的に否定しなければなりません。私達がこの集団の理念を論じ合っていた時間かがいました。

それは音楽のルネッサンスだと――

1964年11月

日本音楽集団同人一同

第1回定期プログラムより

「子供のための組曲」初演ステージ

大山で合宿

1965	1966	1967
10・15 第二回定期演奏会（朝日生命ホール） 「日本楽器のための前奏曲」（三木稔作曲）初演	6・23 第三回定期演奏会（日仏会館ホール） 「二つの牧歌」（三木稔作曲）初演 10・24 第四回定期演奏会（第一生命ホール） 「人形風土記」（長沢勝俊作曲）初演 「古代舞曲によるパラフレーズ」（三木稔作曲）初演 特別会員募集開始	6・26 第五回定期演奏会（日仏会館ホール） 「子供の四季」（長沢勝俊作曲）初演 11・7 第六回定期演奏会（日仏会館ホール） 「三味線協奏曲」（長沢勝俊作曲）初演 「三群のための彩集」（三木稔作曲）初演 芸術祭奨励賞受賞

賞状

日本音楽集団

芸術祭奨励賞の賞状と盾

曲目

I. 組曲「人形風土記」／長沢勝俊作曲

1. ニポポ　2. こけし　3. めろま人形
4. 流しびな　5. キジ馬　6. 木うそ

（琴）野坂恵子　（笛）山田美喜子　（尺八）宮田静八郎　（打楽器）清水義雄
（〃）白根きぬ子　（三絃）杉浦弘和　（〃）横山勝也　（指揮）横山千秋
（十七絃）宮本京子　（篠笛・能管）向山英一郎　（打楽器）田村拓男

組曲「人形風土記」初演のメンバー　第4回定期プログラムより

NOSニュース

- 横山千秋（指揮）氏のため、今回はとくに来春の横山勝俊氏に指揮をお願いしました。
- 今夏カナダのモントリオールで開催中の万国博に日本の民族舞踊が特別出演致しますが、日本音楽集団からは指揮者の横山千秋以下6名が音楽委員として参加することになりました。一行はそのあとメキシコ市において来るべきオリンピックのデモンストレーションを行い、9月初めに帰国致します。
- 第6回の定期演奏会は、10月3日（火）朝日生命ホールで下記の曲目により開催の予定です。（文部省芸術祭参加予定）
  三絃と日本楽器によるディヴェルティメント（長沢）
  組曲「琴」（元禄）
  三群のための三章「湖畔」「文様」「修」（三木）
  月重奏（伊藤靖之作曲）
- 横山勝也（尺八）はニューヨークフェスティバルと協演のため、10月度不参しますので、秋の定期演奏会を休みます。

特別会員募集の御知らせ

1. 募集人員　先着100名様まで
2. 〆　切　本年8月末日
3. 特　典　定期演奏会の御案内、割引優待、出席確保、放送、その他出演の御連絡など。
4. 会　費　割引料金を演奏会場の受付でお払い込み下さい。
5. 申　込　会場受付または下記に御連絡下さい。

東京都神奈川区3－6－34　清水義雄方
TEL　902－0709

特別会員申込書						No.
御住所						
御氏名						
御職業		御年令	才	性別	男・女	御住所・御氏名のみの御記入でもけっこうです。

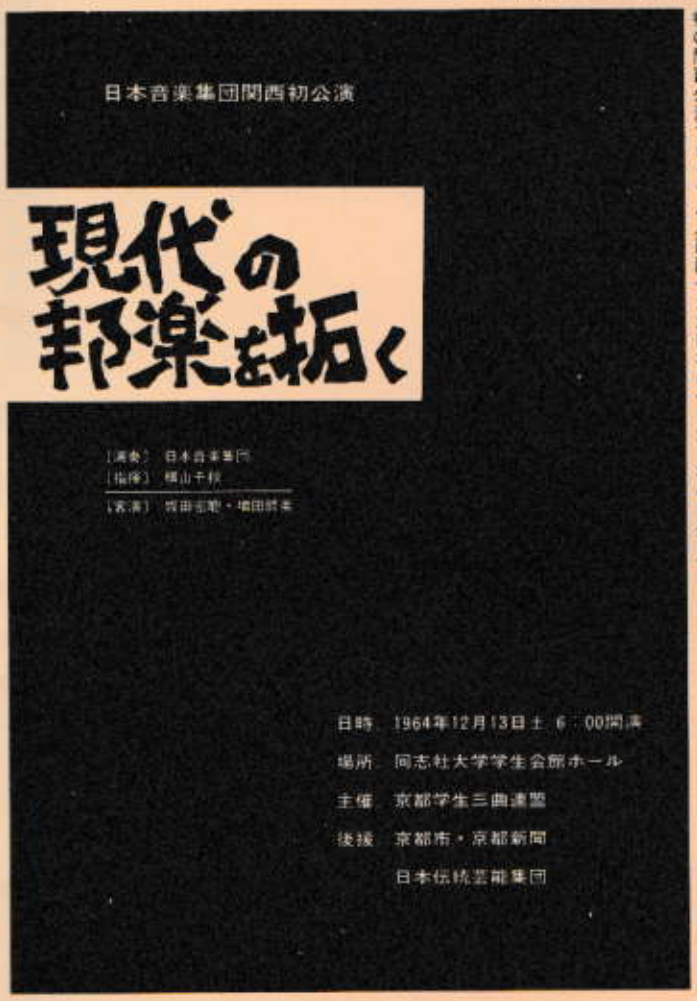
特別会員募集を始める　第5回定期プログラムより

1968	
4・19	第七回定期演奏会（日仏会館ホール）
11・13	第八回定期演奏会（朝日生命ホール） 明治百年記念芸術祭参加 「箏四重奏曲」（長沢勝俊作曲）初演 「はばたきの歌」（三木稔作曲）初演
1969	
6・10	団外作曲家への委嘱も始まる 第九回定期演奏会（朝日生命ホール） 日本楽器による「コントラスト」（堀悦子作曲）委嘱初演
10・31	初のレコード「現代日本の音楽3」（コロンビア）出版 第十回定期演奏会（朝日生命ホール） 初めて文化庁の補助金を受ける 「序の曲」（三木稔作曲）初演 「ディベルティメント」（佐藤敏直作曲）委嘱初演 二十絃箏登場（野坂恵子・三木稔共同開発による） 初の地方公演行なう 京都公演（同志社大学学生会館ホール） 大阪公演（大阪樟蔭女子大学会館）
12・13 12・14	
1970	
4・22	第十一回定期演奏会（朝日生命ホール） 芸術祭主催公演《日本楽器の可能性を求めて》に出演
10・14	
10・19	第十二回定期演奏会（都市センターホール） 「二つの舞曲」（長沢勝俊作曲）初演 山田一雄客演指揮 「日本音楽集団による三木稔の音楽」（コロンビア）が芸術祭大賞受賞

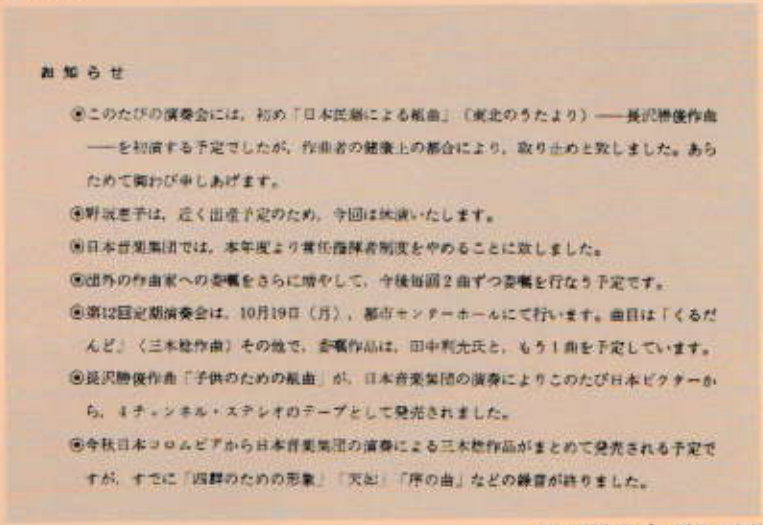
芸術祭大賞を受けた「日本音楽集団による三木稔の音楽」のレコードジャケット

初のレコード「現代日本の音楽3」

アンセルメの訪問を受ける　1968年5月7日



初の関西公演プログラム（西暦一九六四年は一九六九年の間違い）


お知らせ

◉このたびの演奏会には，初め「日本民謡による組曲」（東北のうたより）――長沢勝俊作曲――を初演する予定でしたが，作曲者の健康上の都合により，取り止めと致しました。あらためて謝わび申しあげます。

◉野坂恵子は，近く出産予定のため，今回は休演いたします。

◉日本音楽集団では，本年度より賛助演奏者制度をやめることに致しました。

◉団外の作曲家への委嘱をさらに増やして，今後毎回2曲ずつ委嘱を行なう予定です。

◉第12回定期演奏会は，10月19日（月），都市センターホールにて行います。曲目は「くるだんど」（三木稔作曲）その他で，委嘱作品は，田中利光氏と，もう1曲を予定しています。

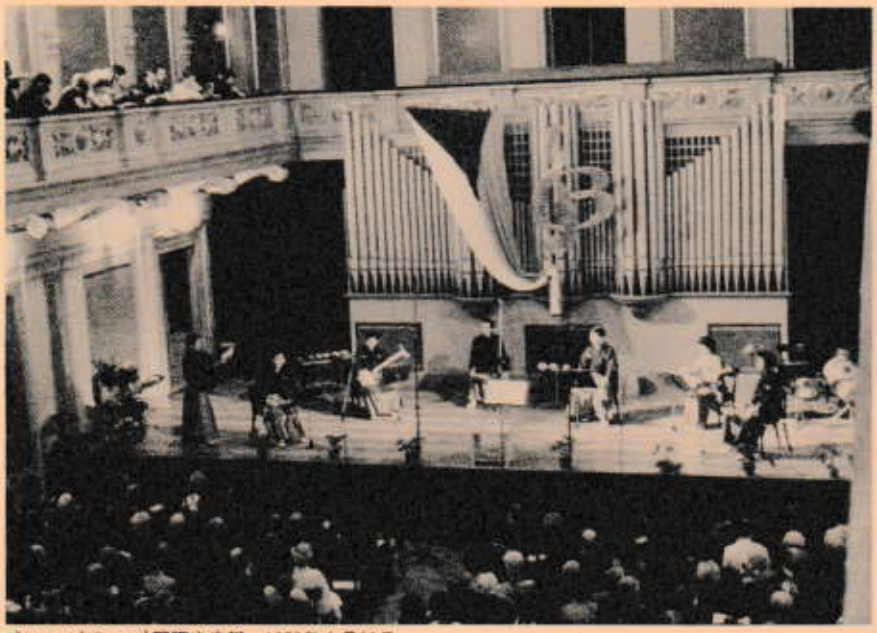
◉長沢勝俊作曲「子供のための組曲」が，日本音楽集団の演奏によりこのたび日本ビクターから，4チャンネル・ステレオのテープとして発売されました。

◉今秋日本コロムビアから日本音楽集団の演奏による三木稔作品がまとめて発売される予定ですが，すでに「四群のための形象」「天地」「序の曲」などの録音が終りました。

第11回定期プログラムより

岡部春風氏の題字

1971	
6・2	第十三回定期演奏会（都市センターホール）「凸」（三木稔作曲）舞台初演
8・19	北軽井沢で夏のアカデミー始まる
9・22	地方演奏会
9・25	岡山公演
28	徳島公演
	名古屋公演
9・27	第十四回定期演奏会（大阪・厚生年金会館中ホール）
11・10	第十五回定期演奏会（都市センターホール）―長沢勝俊作品特集―「萌春」（長沢勝俊作曲）初演
11・20	伝統音楽シリーズⅠ（日仏会館ホール）
1972	
6・7	研究団員制度始まる
	第十六回定期演奏会（都市センターホール）
7・5	伝統音楽シリーズⅡ（青山タワーホール）
9・6	第十七回定期演奏会（朝日講堂）―渡欧記念コンサート―
9・14	第一次海外公演 ベルギー・西ドイツ・チェコスロバキア オーストリア・ユーゴスラビア・ブルガリア・ルーマニア（十七都市・十九公演）
10・23	事務所開設（渋谷・小早川ビル）
1973	
1・24	第十八回定期演奏会（都市センターホール）「インド旋律による壁画」（牧野由多可作曲）委嘱初演
3・5	新人演奏会（東京文化会館小ホール）「みち」（長沢勝俊作曲）初演

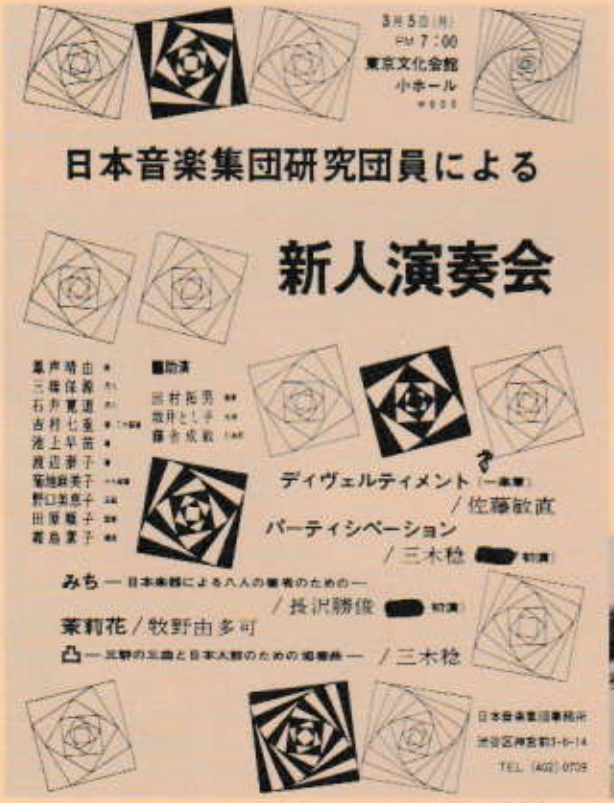


ブルーノ（チェコ）国際音楽祭　1972年9月29日

週刊 音楽新聞

はじめてのヨーロッパ公演へ

日本音楽集団が 9～10月に



第1回新人演奏会チラシ

長沢勝俊「二つの舞曲」初演　客演指揮 山田一雄

楽器車第1号

第12回定期プログラムより

7・3　第十九回定期演奏会
（都市センターホール）
「朱輪金鈴」（長沢勝俊作曲）初演

10・5　第二十回定期演奏会（虎ノ門ホール）
―芸術祭公演―
「鄂曲（餐多々良）」（伊福部昭作曲）
委嘱初演
「楢遥」（入野義朗作曲）委嘱初演

11・26　西日本公演
名古屋
福岡
熊本
広島
福山
松江
徳島
岡山

12・6　第二十一回定期演奏会（第二回関西定期（大阪・厚生年金会館中ホール）
「ダンスコンセルタント・四季」
（三木稔作曲）初演

1974

1・23　伝統音楽シリーズ III（梅若能楽堂）

2・27　第二回新人演奏会
（青山タワーホール）
「邦楽器のためのディヴェルティメント」
（新美徳英作曲）委嘱初演

5・14　第二十二回定期演奏会
（都市センターホール）
―創立十周年記念―

6・19　地方演奏会
函館公演
札幌公演
旭川公演
盛岡公演
仙台公演

7・16・17　第八回九州サマーフェスティバル

10・1　芸術祭祝典「現代邦楽の夕べ」に出演
（国立大劇場）

11・25～12・17　第二次海外公演
―東南アジア日本週間―
インドネシア・ベトナム・フィリピン
（四都市・十七公演）

北日本公演スナップ　1974年6月

パリ島空港にて　1974年12月

札幌にて

青函連絡船

アイヌ衣装で

パリ島音楽院訪問　1974年12月

徳島で花輪の歓迎　西日本公演1973年12月4日

熊本駅に着いたメンバー　西日本公演1973年11月28日

芸術祭祝典「現代邦楽の夕」1974年10月1日（国立大劇場）

事務所前では餅つきを

レコードジャケット

1975

2・18 第二十三回定期演奏会（都市センターホール）
「板碑のうた」（長沢勝俊作曲）初演

2・26～3・14 第三次海外公演
オーストラリア・ニュージーランド（八都市・八公演）

5・29 第二十四回定期演奏会（都市センターホール）
「メタフォー」（柴田南雄作曲）初演
作曲公募始まる

9・22 第二十八回定期演奏会（日仏会館ホール）

10・15 第二十九回定期演奏会（朝日講堂）
―楽しい邦楽―

12・3 第三十回定期演奏会（都市センターホール）

12・16 地方演奏会
福山公演
17 広島公演
18 松山公演
19 岡山公演
21 高松公演

1976

1・28 第三十一回定期演奏会（青山タワーホール）

2・10 第三回新人演奏会（青山タワーホール）

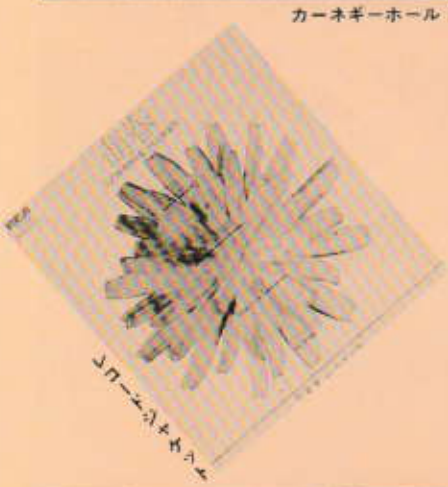
2・15～3・21 第四次海外公演
カナダ・アメリカ（十七都市・二十四公演）
「わ」（三木稔作曲）カーネギーホールにて初演

4・13 第三十二回定期演奏会（都市センターホール）
第一回公募作品「SHO―IN」（前田行央作曲）初演
機関誌「邦楽現代」創刊
NHK TVドラマ「鳴門秘帖」（三木稔作曲）一年間音楽担当

5・12 第三十三回定期演奏会（青山タワーホール）

カーネギーホール「わ」初演　1976年2月25日

第28回定期　琵琶楽その1　1975年9月22日日仏会館ホール



コンサートチラシ

メルボルン　1975年

ウェリントン　1975年

機関誌「邦楽現代」創刊

コンサート・シリーズ　チラシ

THE POST, MONDAY, MARCH 10, 1975.

6

Japan On Musical Path To True Place In World

THERE was a growing trend towards the revival of traditional music and culture in Japan and this was the only way that Japan could become truly "international," a visiting member of the Ensemble Nipponia, Mr Minoru Miki, said in Wellington today.

Mr Miki, a composer and group of composers and musicians, including first-class artistic director with the group, who are jointly working for the performance of Japan was isolated until classical and contemporary almost 100 years ago, when a Japanese music by means of contacts and western culture of the country's traditional instruments — the bamboo "invaded" the country. string instruments, bell type "Our culture was very confused at this time and after wind instruments and percussion the Second World War. It has instruments.

now passed that period. Now The ensemble aims to give the country is trying to make new life to traditional music, its own culture again." to create and present modern This was the only way Japan Japanese music which matches felt it could be truly "international," he added.

The visit by the Ensemble Nipponia has been arranged by the Music Federation of New Zealand with the support of the Agency for Cultural Affairs of the Japanese Gov-

ウェリントンの紹介記事

6・23 第三十四回定期演奏会（青山タワーホール）
「新八千代獅子」初演

7・19 第三十五回定期演奏会（朝日生命ホール）
語りと音楽「竹取物語」（長沢勝俊作曲）初演

10・4 第三十六回定期演奏会（日仏会館ホール）

12・17 第三十七回定期演奏会（中央会館）
「巨火」（三木稔作曲）初演

1977

1・19 地方演奏会
大分公演
宮崎公演
鹿児島公演
熊本公演
長崎公演
佐世保公演
福岡公演

2・13 第三十八回定期演奏会（鹿ノ門ホール）
加藤登紀子とともに
フォルクローレをたずねて

3・24 第三十九回定期演奏会（青山タワーホール）

5・16 第四十回定期演奏会（都市センターホール）
第二回公募作品一位
邦楽器のための「心」（高橋雅光作曲）初演

6・17 第四十一回定期演奏会（東邦生命ホール）

7・12 第四十二回定期演奏会（青山タワーホール）
―演奏家の作曲へのアプローチ・その1―

9・20 地方公演
名古屋公演
岐阜公演
富山公演
新潟公演
山形公演
十文字公演
秋田公演

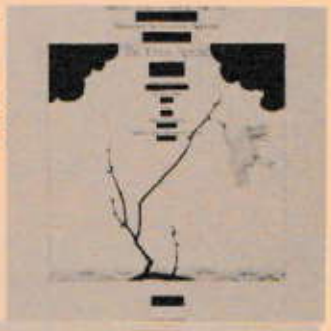
加藤登紀子とともに　第38回定期

かぐら1976　第37回定期「巨火」初演

芸術祭祝典「日本の歌・四季の愛唱歌」

かぐら1976　うらかぐら星界の報告

レコードジャケット



邦楽の会「つばら」のみなさんと　1977年9月秋田

新潟大学学生のみなさんと　1977年9月新潟

1978	
10・1	芸術祭祝典に出演（国立大劇場）
10・28	第四十三回定期演奏会（中央会館） 「風跡」（助川敏弥作曲）委嘱初演 井上道義客演指揮
12・21	第三回関西定期演奏会 （大阪・厚生年金会館中ホール）
12・26	第四十四回定期演奏会 （新橋ヤクルトホール） 「語りと音楽」
1978	
1・27	第四十五回定期演奏会 （青山タワーホール）
3・11	第一回日本音楽集団フェスティバル
5・10	第四十六回定期演奏会 （都市センターホール） 第三回公募作品一位 「花と風」（中村滋延作曲）初演
6・16	第四十七回定期演奏会 （青山タワーホール）
7・7	第四十八回定期演奏会 （青山タワーホール） 「尺八協奏曲」（長沢勝俊作曲）初演
8・29 ～ 10・26	第五次海外公演 東ドイツ・ギリシャ・イギリス・ルーマニア・チェコスロバキア・カナダ・アメリカ（二十都市・二十七公演）
12・13	音楽の友社賞受賞
12・22	第四回関西定期演奏会 （京都・京都会館第二ホール）
1979	
1・22	創立十五周年記念二夜連続コーサート 第四十九回定期演奏会 （都市センターホール） 第三回公募作品 「序と四つの子供のうた」（小宮保作曲）初演
1・23	第五十回定期演奏会 （都市センターホール） 「史魂」（柿屋正邦作曲）委嘱初演
1・29	地方演奏会 高崎公演
30	上田公演

第49回定期　客演指揮　荒谷俊治

第2回 音楽之友社賞 受賞者および紹介

日本の伝統楽器をもとにした幅広い，新しい創造（企画，創作，演奏，教育）活動が顕著であった。

日本音楽集団

開演を待つ聴衆の列　1977年12月第3回関西定期

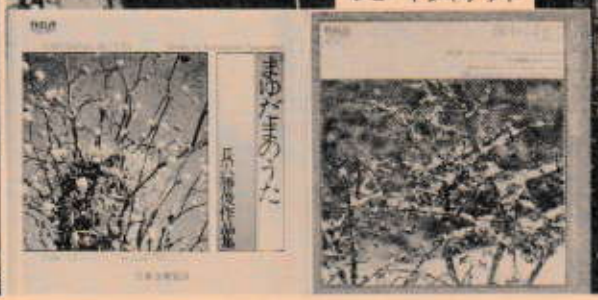
カーネギーホール前で　1978年10月20日

上田公演　1979年1月

アテネ音楽祭プログラムの表紙

15周年記念パーティー　1979年1月

レコードジャケット

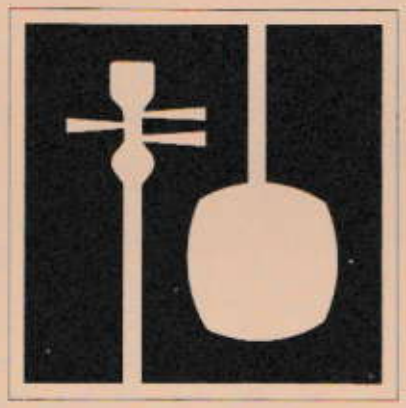


ルーマニア　ブカレストラジオホール　1978年10月7日

2・31	長野公演
2・1	松本公演
2	諏訪公演
3	甲府公演
7	横浜公演
9	藤沢公演
17	水戸公演
3・2	第五十一回定期演奏会（朝日生命ホール） 「日本の四季・西洋の四季」 福村芳一客演指揮
4	日本音楽協会発足
5・8	第五十二回定期演奏会（都市センターホール） 第四回公募作品一位 「半楽」（永瀬博彦作曲）初演
6・8	第五十三回定期演奏会（青山タワーホール）
7・6	第五十四回定期演奏会（青山タワーホール） 「演奏家の作曲へのアプローチ・そのII」
5・19	第二回日本音楽集団フェスティバル 全国よりアマチュアグループ大集合
7・9	第六次海外公演
～	ハワイインターアーツフェスティバル
7・23	（六公演）
	七九年度文化庁助成
	地方演奏会（その一）
9・11	名古屋公演
12	岐阜公演
13	豊橋公演
14	奈良公演
10・10	第五十五回定期演奏会（都市センターホール） 「竹に同じく」（池辺晋一郎作曲）委嘱初演
12・7	第五十六回定期演奏会（青山タワーホール） —琵琶特集・その二—
12・7	第五十七回定期演奏会（青山タワーホール） —かぐら一九七九—
12・20	第五回関西定期演奏会（大阪・厚生年金会館中ホール）

幻のハワイ合奏研究会

InterArts Hawaii



インターアーツ・ハワイのプログラム表紙

日本音楽集団作曲賞贈呈式　永瀬博彦氏（左）1979年5月8日

第2回フェスティバル
日本音楽協会星組合奏団の演奏　1979年5月19日

フェスティバル後の打上げは賑やかに

日本各地の演奏グループを集めて

第二回日本音楽集団フェスティバル

日本音楽協会関西合奏団「鼎」関西　京都邦楽グループ 京都
日本音楽協会合奏団「たあく」東京　日本音楽協会「星組」合奏団 東京　日本音楽集団

演奏会 青山

一九七九年五月十九日（土）　芝・増上寺ホール

第57回定期チラシ

1980	
12・17	地方演奏会（その二）
12・18	津公演
12・21	大津公演
12・22	和歌山公演
	姫路公演
1・7	第七次海外公演
1・24～	タイ・インドネシア・フィリッピン
3・26	（六都市・十二公演）
	第四回新人演奏会
	（青山タワーホール）
5・8	第五十八回定期演奏会
	（都市センターホール）
	第五回作品公募
	「春響」（佐藤降作曲）初演
	井上道義客演指揮
5・24	第三回日本音楽集団フェスティバル
6・10	第五十九回定期演奏会
	（青山タワーホール）
6・14	地方演奏会
6・16	大牟田公演
6・17	佐賀公演
6・18	熊本公演
6・19	福岡公演
6・20	岡山公演
6・21	高松公演
6・23	高知公演
6・24	徳島公演
6・25	松山公演
6・27	広島公演
7・7	天理公演
	第六十回定期演奏会
	（青山タワーホール）
10・14	「夏のアカデミー合奏研究会」
	第六十一回定期演奏会
	（都市センターホール）
11・12	「叙楽」（永瀬博彦作曲）委嘱初演
	第六十二回定期演奏会
	笛・打楽器特集　（青山タワーホール）
1981	
1・28	第六十三回定期演奏会
	（青山タワーホール）

水郷柳川で川下り　1980年6月

奈良義寛、事務局長に就任

佐賀では宣伝カーもくりだす大キャンペーン

第７次海外公演　1980年１月

パロンの面をつける長沢

勇気ある事務局長

原宿教室開校

レコードジャケット

「ファンタス・マゴリア」合同演奏のリハーサル

第４回日本音楽協会フェスティバルの打上げ

2・11 ～ 2・12　第六回関西定期演奏会
「冬の一日」（長沢勝俊作曲）舞台初演
（京都・府立文化芸術会館）

5・8　第六十四回定期演奏会
（都市センターホール）
第六回公募作品一位
「羅」（新実徳英作曲）初演
「二十絃箏鎮魂協奏曲」（三木稔作曲）初演

6・12　第六十五回定期演奏会
（青山タワーホール）
「十面埋伏」（王燕燕作曲）委嘱初演

7・6　第六十六回定期演奏会
（青山タワーホール）
「八郎物語」（三木稔作曲）演奏会初演

「夏のアカデミー合奏研究会」
岡山　八月一日～四日
軽井沢　八月七日～十日

9・28　第六十七回定期演奏会
（新宿文化センター）
「大津絵幻想」（長沢勝俊作曲）初演

地方演奏会
10・8　甲府公演

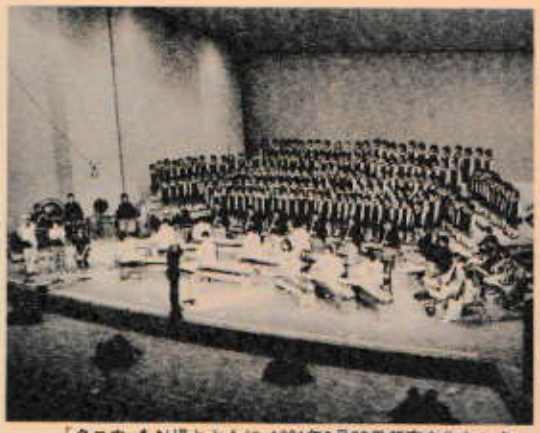
10・23　第七回関西定期演奏会
（大阪・郵便貯金会館ホール）

11・8 ～ 12・6　第八次海外公演
東ドイツ・イタリア・イギリス
（十二都市・十四公演）
ゲヴァントハウス・オーケストラ委嘱作品「急の曲」（三木稔作曲）をゲヴァントハウスにて初演

11・12　第六十八回定期演奏会
（青山タワーホール）

1982
1・29　第六十九回定期演奏会
（青山タワーホール）
―ソロとコンチェルトの夕べ―

地方演奏会
2・8　松本公演
13　上田公演
12　長野公演
10　諏訪公演
9　名古屋公演


「タロウ」をN児とともに 1981年9月28日新宿文化センター

夏のアカデミー　岡山でも始まる

日本音楽集団作曲賞贈呈式　新実徳英氏（左から2人目）1981年5月8日

第6回関西定期第二夜　指揮 稲田 康　1981年2月12日

ゲヴァントハウス新ホールで「急の曲」初演　1981年11月12日

「阿波の狸囃子」第6回関西定期（京都府立文化芸術会館）

15	岐阜公演
16	豊橋公演
3・17	第四回新人演奏会（芝abc会館ホール）
5・10	第七十回定期演奏会（都市センターホール） —委嘱作品特集— 「一九八二年五月十日」（三枝成章作曲） 委嘱初演
5・15 6・10	第五回日本音楽協会フェスティバル 第七十一回定期演奏会（青山タワーホール） —尺八・箏二重奏特集—
7・7	第七十二回定期演奏会（青山タワーホール） —平和コンサート— 「夏のアカデミー合奏研究会」 軽井沢　八月七日～十日 岡　山　八月二十日～二十三日
10・9	第七十三回定期演奏会（ゆうぽうと簡易保険ホール） —芸術祭コンサート— 「鳳凰三連」
10・19 （23	第九次海外公演 香港（三公演）
11・30	第七十四回定期演奏会（青山タワーホール） 地方演奏会 新潟公演 上越公演 富山公演 福井公演
12・4 5 6 12・9	
12・10	第八回関西定期演奏会（京都・府立文化芸術会館）
1983 1・25	第七十五回定期演奏会（青山タワーホール） —ソロとコンチェルトのタペ・その二—
2・17 18 27	地方演奏会 藤沢公演 富士公演 水戸公演

レコードジャケット

レコードジャケット

夏のアカデミー（軽井沢）に福原百之助氏来演

第70回春の総合定期チラシ

「序の曲」太棹・坂井敏子、二十絃箏・吉村七重、尺八・坂田誠山

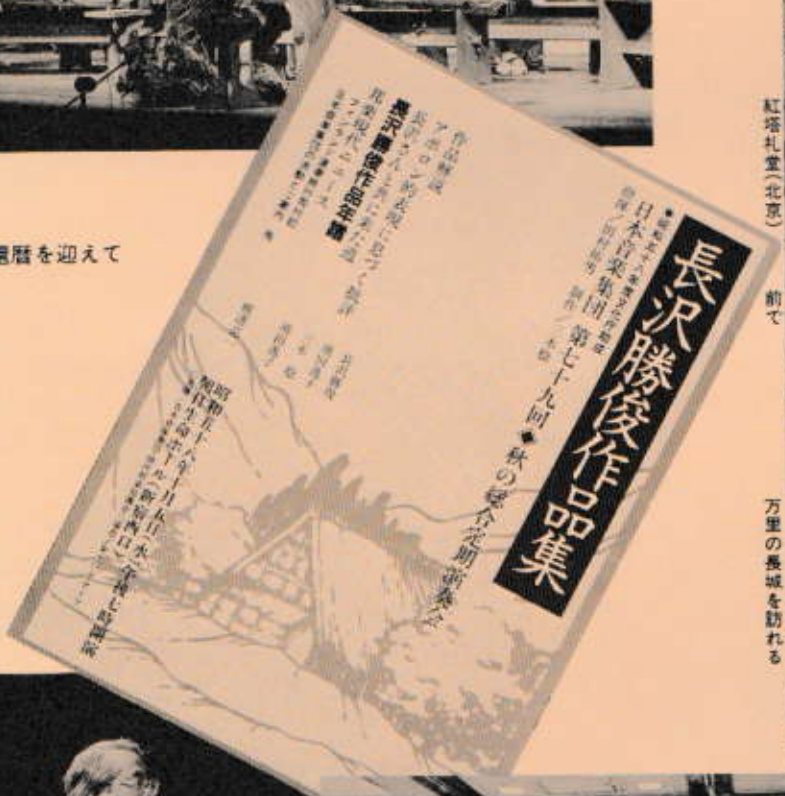
芸術祭主催公演「急の曲」
日本初演を含む〈鳳凰三連〉
一挙上演
オーケストラ　読売日本交響楽団
指揮　山岡重信

「破の曲」独奏二十絃箏・野坂恵子

3・4　第十次海外公演
3・13　中国（二都市・五公演）
3・16　研究団員コンサート（方南会館）
4・30　第六回日本音楽協会フェスティバル（大阪）
5・16　第七十六回定期演奏会（朝日生命ホール）
—集奏名作十八番特集—
6・17　第七十七回定期演奏会（青山タワーホール）
「コンクール入賞者特集」
7・12　第七十八回定期演奏会（青山タワーホール）
—巨匠たち—
7・17～30　第十一次海外公演
フィンランド（四都市・七公演）
9・2　アジア・北アフリカ人文科学会議に出演
10・5　第七十九回定期演奏会（朝日生命ホール）
—長沢勝俊作品特集—
「鳥と砂と海と」（長沢勝俊作曲）初演
ゲヴァントハウス・オーケストラ日本公演に出演「急の曲」（三木稔作曲）演奏
10・27　東京公演（人見講堂）
11・6　名古屋公演（愛知文化講堂）
11・10　神戸公演（神戸文化ホール）
11・11　徳島公演（徳島市文化センター）
11・9　第九回関西定期演奏会（京都・府立文化芸術会館）
八三年度文化庁助成
地方演奏会
11・7　岐阜公演
8　和歌山公演
12　高松公演
13　岡山公演
14　今治公演
15　宇和島公演
16　姫路公演
12・2　第八十回定期演奏会（芝 abc会館ホール）
「中国音楽との出会い」

三木より花束を受ける長沢勝俊　第79回定期 1983年10月5日

長沢勝俊還暦を迎えて



中国中央民族楽団との合同演奏（北京）

紅塔礼堂（北京）前で

万里の長城を訪れる

長沢勝俊

レコードジャケット

1984

1・27 第八十一回定期演奏会
（芝abc会館ホール）

2・29 研究団員コンサート

3・12～17 第十二次海外公演
台湾（二都市・二公演）
二十周年記念シリーズ

5・16 第八十二回定期演奏会
（朝日生命ホール）

6・11 第八十三回定期演奏会
（芝abc会館ホール）

7・6 第八十四回定期演奏会
（芝abc会館ホール）

8・2 二十周年を成功させるパーティー

9・5 第八十五回定期演奏会
（朝日生命ホール）
第六回公募作品一位「桜川」（田中友子作曲）初演
「青のモチーフによるコンポジション」（佐藤敏直作曲）委嘱初演
「秋のコンチェルト」（中村八大作曲）委嘱初演
「人形風土記Ⅱ」（長沢勝俊作曲）初演

6・18～9・23 地方演奏会
札幌公演
旭川公演
19 下川公演
20 苫小牧公演
21 長万部公演
22 函館公演
23 青森公演
26 盛岡公演

9・23～10・20 第十二次海外公演
ソビエト・東ドイツ・フランス・フィンランド（七都市・十五公演）

10・1 芸術祭祝典に出演

12・5 第八十六回定期演奏会
（俳優座劇場）

モスクワの「巨火」第13次海外公演　1984年9月26日

創立20周年記念作品公募　日本音楽集団作曲賞贈呈式　田中友子氏
1984年9月5日

パリ サル・ガヴォーホール 前で

中村八大「秋のコンチェルト」初演　第85回定期

ヘルシンキフィル指揮者ペッカネン氏夫妻と　細谷（左）、半田（右）

20周年記念パーティー　1984年8月

1985	
1・28	第八十七回定期演奏会（芝abc会館ホール）「木もれ陽」（内田とも子作曲）初演
2・7	第十回関西定期演奏会（大阪）
2・20	後援会「ニッポニアメイツ」発足
4・24	第八十八回定期演奏会（芝abc会館ホール）
6・10	つくば博「日本の日」に出演
6・20	第八十九回定期演奏会（朝日生命ホール）
9・15	第八回日本音楽協会フェスティバル（名古屋）
9・26	第九十回定期演奏会（芝abc会館ホール）―伝統から創造へ―
11・4	文化庁芸術祭・熊本公演に出演「秋の一日」（長沢勝俊作曲）初演
11・5	地方演奏会 阿蘇一宮公演 府中（広島県）公演 広島公演
～	諫早公演 川棚公演 久留米公演
11・28	北九州市公演
12・2	第九十一回定期演奏会（朝日生命ホール）「北の詩」（三木稔作曲）初演 夷曲「西綾楽」（芝祐靖作曲）委嘱初演
1986	
2・7	第九十二回定期演奏会（芝abc会館ホール）楽器の改良にスポットをあてて
2	スーパー歌舞伎「ヤマトタケル」の音楽担当（長沢勝俊作曲）
3	新たに団員募集始める
5・9	第九十三回定期演奏会（朝日生命ホール）「天点譜」（池辺晋一郎作曲）委嘱初演

阿蘇に遊ぶ団員　1985年11月

第10回関西定期　1985年1月25日朝日新聞（夕刊）

中村八大が自作を指揮

創立20周年記念演奏会

邦楽アンサンブル「日本音楽集団」

日本音楽集団の演奏風景

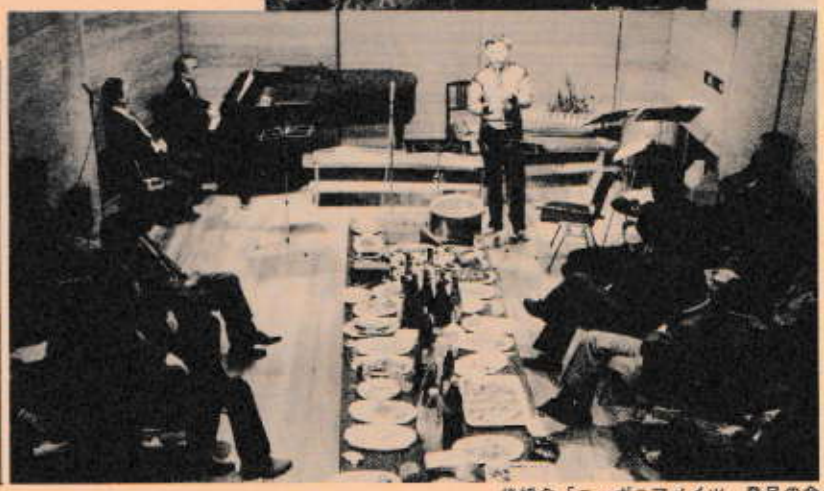
国際的に活躍している邦楽アンサンブルの「日本音楽集団」が、関西定期演奏会を二月七日午後六時半から大阪厚生年金中ホールで開く。日本の伝統楽器による現代音楽の創造を目ざしている。

昨年四月から今年三月まで、創立二十周年の記念演奏をしている。今回はその一環で、関西定期も第十回という、区切りのよい会になる。

記念演奏なので、曲目はすべて新曲。昨年九月に東京で発表したのと同じ内容だ。話題の一つは、ポピュラー・歌謡界で活躍している中村八大が、自作の「秋のコンチェルト」を指揮すること。ほかは指揮者指揮。同集団の代表作である長沢勝俊作曲「人形風十話」第二番、第一番を発表してから十八年余りの新作だ。田中友子「桜川」は二十周年記念委嘱作、第一位になった作品。それと、佐藤敏直「青のモチーフによるコンポジション」。

二千五百円（前売の二千二百円）、高校生以下千五百円。問い合わせは同集団関西支部（電話〇七二二六一一四二二）へ。

第91回定期「北の詩」（三木稔指揮）



後援会「ニッポニアメイツ」発足の会

おあしす

◇…二日夜、東京・新宿の朝日生命ホールで開かれた日本音楽集団の定期演奏会で、来日中の読売日響名誉指揮者、クルト・マズアさん（右）＝写真＝が、尺八や三味線などの邦楽器集団を指揮するハプニングがあった。

◇…マズアさんは、夫人のソプラノ歌手桜井悟子（ともこ）さんが、この演奏会にゲスト出演していたため、聴衆の一人として会場に来た。プログラムが終わって同集団指揮者の田村拓男さんが、客席にいたマズアさんに「アンコール曲の指揮をぜひ」と頼んだところ、マズアさんは最初戸惑っていたが、拍手に誘われるように立ち上がった。

◇…ステージには登らず、客席最前列からの指揮。曲目は、パッハの小品で、妻のために作ったラブソング。邦楽器で演奏されるパッハに満員の聴衆は大喜びで、さかんに拍手を送っていた。

1985年12月30日　読売新聞

第91回定期

邦楽の「日本音楽集団」

委嘱初演作品など4つの大曲に挑む

邦楽界のアンサンブル「日本音楽集団」が百二日夜七時から東京・新宿の朝日生命ホールで第九十一回の定期演奏会を開く。委嘱初演作品など、四つの大曲に挑む。

委嘱初演されるのは三木稔作曲「北の詩」。作曲者自身が指揮をする。また、加藤氏の作曲した「西綾楽」は、ギターとパーカッションの共演。今回の演奏会で初演される「西綾楽」は、「西綾楽」の中の第一番をテーマに作曲したという。作曲者の加藤ゆみ、ひろゆきの兄弟が来演する。

東京で初演される邦楽界の名曲の作品

5・11	現代日本音楽フェスティバル'86（名古屋）
6・2	松江市プラバーホール柿落とし演奏会
6・26	第九十四回定期演奏会（芝abc会館ホール）—海外からの作品特集—
9・4	和歌山県民文化祭オープニングに
9・18	第九十五回定期演奏会（芝abc会館ホール）「竹の響き・糸の調べ」
8・31	いわき市市制二十周年記念演奏会
	八六年度文化庁助成 地方演奏会
9・26	米子公演
27	鳥取公演
29	出雲公演
30	益田公演
10・1	日原公演
2	下関公演
3	岡山公演
4	津山公演
10・6	第十二回関西定期演奏会
11・12	第九十六回定期演奏会（都市センターホール）「タクシム」（間宮芳生作曲）委嘱初演 松尾葉子客演指揮
1987	
1・19	第九十七回定期演奏会（芝abc会館ホール）
3・6	香川県志度町音楽ホール落成記念コンサート
5・19	第九十八回定期演奏会（朝日生命ホール）「人形と邦楽器によるパフォーマンス」人形劇団ブーク特別出演
7・7	第九十九回定期演奏会（朝日生命ホール）

第98回定期チラシ

人形と邦楽器によるパフォーマンス　1987年5月19日
特別出演—人形劇団ブーク

海外からの作品特集　第94回定期　1986年6月26日
客演指揮—飯森範親

第96回定期　客演指揮 松尾葉子　1986年11月12日

レコードジャケット

華麗なる三味線の世界　田舞（たのまい）のロンド　第97回定期　1987年1月19日

10周年を迎えた星組合奏団

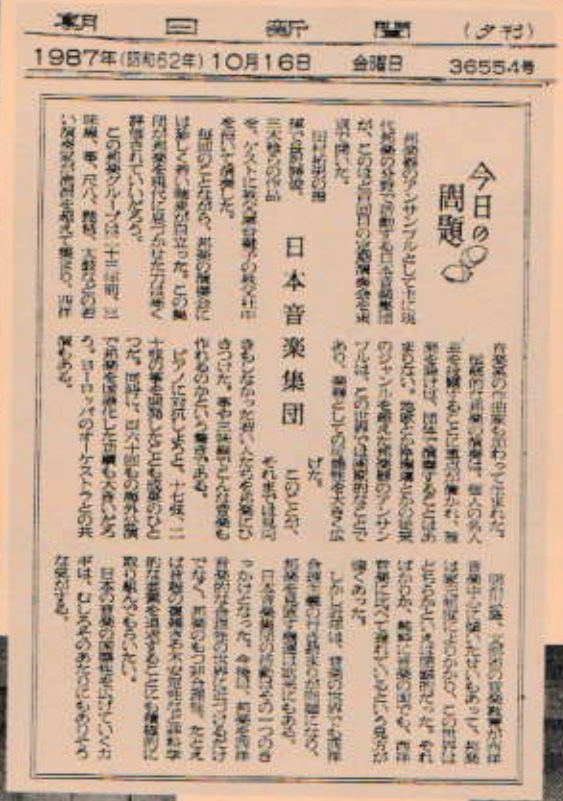
8・28 地方演奏会
長野公演
松本公演
29 小諸公演
30 諏訪公演
・31 甲府公演
9・19
9・20 日本音楽合奏フェスティバル（名古屋）
10・13 第百回定期演奏会
（都市センターホール）
「彫板」（長沢勝俊作曲）初演
10・27 第十三回関西定期演奏会（京都）
10・28 関公演
11・18 第百一回定期演奏会
（芝abc会館ホール）

1988

1・20 第百二回定期演奏会
（芝abc会館ホール）
1・21 ―日本の楽器でえがく音の絵本―
「ほうきぼしとチョコレット」（内田とも子）初演
「多毛留」（秋岸夏久作曲）初演
高橋清祐演出
地方演奏会
2・13 久喜公演
2・29 第十四次海外公演
3・17 アメリカ（七都市・十一公演）
3・29 松尾芸能賞特別賞受賞
4・25 第百三回定期演奏会（パリオホール）
「粉ひき池の空に雲」（ジム・コーデリイー作曲）委嘱初演
6・21 第百四回定期演奏会
（朝日生命ホール）
―アメリカ公演報告演奏会―
「弥勒効果」（吉松隆作曲）日本初演
「楽市七座」（和田薫作曲）日本初演
8・10 世界人形フェスティバルに出演
9・28 第百五回定期演奏会
（芝abc会館ホール）
―青少年のための日本音楽―

「巨火（ほて）」客演・秩父屋台囃子　第100回定期　1987年10月13日

橋本治訳による「枕草子」委嘱初演　客演　青島広志



朝日新聞（夕刊）
1987年（昭和62年）10月16日　金曜日　36554号

今日の問題

日本音楽集団

前衛的のアンサンブルとして注目を集めている日本音楽集団が、このほど行われた演奏会を聞いた。

田村拓男の編曲による「三味線の音色」、「琴と尺八のための作品」、「琴と尺八のための作品」、「琴と尺八のための作品

1989年度の主要事業

■定期演奏会

○第108回定期演奏会　　5月9日(火)
朝日生命ホール

アジアを題材にした大作を集めて

○第109回定期演奏会　　7月4日(火)
バリオホール

日本作曲家協議会共催により
邦楽作品の祭典

○第110回定期演奏会　　11月2日(木)
有楽町朝日ホール

朝日新聞社共催により、日本音楽集団創立25周年と朝日新聞記念会館創立5周年を記念する特別演奏会

○第111回定期演奏会　　12月12日(火)
津田ホール

誕生20周年を迎えた二十絃箏特集

○第112回定期演奏会　　2月5日(月)
バリオホール

笛と打楽器の音楽特集

■海外演奏会

○東アジア公演

韓国　9月5日～13日
ソウル、光州、大邱、釜山
中国　9月中旬～10月上旬
北京、西安、敦煌、烏魯木斉

○ベルギー公演

11月10日～26日
ユーロパリア'89
アントワープ、ブラッセル ほか

	1989
10・1	秋田県芸術祭オープニング
11・9	第百六回定期演奏会（朝日生命ホール） ―合唱・声を伴う作品特集― 橋本治訳による「枕草子」（青島広志作曲） 委嘱初演
2・2	第百七回定期演奏会（バリオホール） ―尺八・箏二重奏特集― その二
2・18	テレビ朝日三十周年記念十夜連続大音楽会（第三夜）（サントリーホール）
3・22	沖縄パーパービューホテルでコンサート これで全県を制覇したことになった
4・1	四月一日 創立二十五周年を迎える

「多毛留」客演 米倉斉加年

「多毛留」客演 日色ともゑ

第102回定期「日本の楽器でえがく音の絵本」1988年1月20・21日

「ほうきぼしとチョコレット」団員の演技

祝・日本音楽集団
創立二十五周年

郵船航空サービス株式会社
渋谷旅客営業部
〒150 東京都渋谷区道玄坂1-13-5
電話(03)780-2082
団体科：佐藤／木下／熊谷

INTERNATIONAL MUSIC SERVICE
ims
アイ・エム・エス
●楽器リース●保管●移動●ステージ・スタッフ派遣
〒167 東京都杉並区上荻2－21－25
オリオンシャトー1F
PHONE. 03-397-2292

琴・三絃
一藤
ローン・下取り・修理致します。
［八千代店］ 千葉県八千代市八千代台北 17－16－13
☎0474-84-8859
［調布店］ 東京都調布市上石原 1－6－14
☎0424-84-0092

祝・日本音楽集団創立二十五周年
和楽器専門店
老舗 K.K.金善楽器店
京都市東山区大和大路通り四條下ル二丁目亀田町五七
TEL (075) 五六一－二九四〇 五四一－一〇九三
五二五－一三七五（夜間）

邦楽ジャーナル Hogaku Journal

【尺八・箏・三味線の月刊イベント情報誌…includes information in English】

全国から集めたホットなコンサート情報を中心に、
今注目の演奏家への本音の取材、邦楽器の不思議な特性の解明、邦楽界の諸問題等、
身近な邦楽情報を満載！　今、邦楽はおもしろい。

定価：450円／年間購読5400円・半年購読2700円（送料サービス）★26～16号までは定価350円
発行：邦楽ジャーナル／〒169東京都新宿区高田馬場3-39-9グリーンハイツ202　☎03-360-1329
郵便振替口座：東京3-361943　邦楽ジャーナル
★お求めは全国の和楽器店、または直接邦楽ジャーナルにお電話を。

●バックナンバーのご案内
27号（89年4月）―こんなアイデアいかが？
26号（89年3月）―邦楽のプロとは〈後〉
25号（89年2月）―邦楽のプロとは〈前〉
24号（89年1月）―正月の音
23号（88年12月）―忠臣蔵
22号（88年11月）―アマチュア合奏団大集合
21号（88年10月）―尺八
20号（88年9月）―箏
19号（88年8月）―韓国の伝統音楽
18号（88年7月）―花柳界
17号（88年6月）―文楽はおもろい
16号（88年5月）―古代の音楽

◉待望の長沢作品を縦譜化　長沢勝俊作品集

No.1	飛鳥によせる三つのバラード	800円	No.11	箏協奏曲	700円	〔尺八譜〕		
No.2	まゆだまのうた	400円	No.12	雪三態	800円		飛鳥によせる三つのバラード	400円
No.3	合奏曲六段	600円	No.13	北国雪景	900円		まゆだまのうた	300円
No.4	春三題	600円	No.14	樹冠	700円		秋によせる三つの幻想曲	400円
No.5	秋によせる三つの幻想曲	600円	No.15	萌春	500円		六連星	300円
No.6	箏のしらべ	500円	No.16	合奏曲みだれ	700円		二つの田園詩	300円
No.7	合奏曲千鳥	500円	No.17	合奏曲八千代獅子	600円		樹冠	300円
No.8	六連星	400円	No.18	箏四重奏曲	700円		萌春	400円
No.9	箏三重奏曲	600円	No.19	四つの小品	700円		四つの小品	400円
No.10	二つの田園詩	500円						

㈲ 家庭音楽会出版部　〒810 福岡市中央区大名1－3－41
☎(092)741-2458 振替口座福岡8-5500

琴・三絃一式

株式会社 琴の長澤

京都・中京区四条旧御前通り上ル
TEL 〇七五・八二一・一三四五

鳴物太鼓
創業天保六年

株式会社 岡田屋布施

歌舞伎座
新橋演舞場
明治座
各放送局
各流家元
〈御用〉

代表取締役 布施太久藏

台東区雷門一丁目十六番五号
（地下鉄田原町下車雷門通り角）
電話 〇三（八四一）一八六七
FAX 〇三（八四三）六四九三
《年中無休》

祝・日本音楽集団創立25周年

信頼の品質

箏
三味線

田波楽器株式会社

〒537 大阪市東成区
東今里二丁目4－6
TEL 06(976)1885
FAX 06(974)9632

◇優れた技術で日本の音をおとどけする◇

北国の秀作

都山流 …… 沢山銘
琴古流 …… 沢仙銘

尺八

尾崎尺八工房

☎(011)582-8119

〒005 札幌市南区澄川4条9丁目4－10
(地下鉄南北線自衛隊前駅下車5分)

邦楽器全般

いづみや楽器店

〒598 泉佐野市栄町6～11
TEL 0724(63) 1246

琴 三味線

紅屋

所沢市泉町1864－3
0429-25-3935 28-1082(夜)

祝・日本音楽集団創立25周年

「つみたてクレジット」で
大きな安心と計画つみたて

積立家族傷害保険 新発売

健康はご家族の大きな財産。
だから備えが必要です。

※安田火災海上

※ 損害保険の安田火災はあなたの暮らしをワイドに補償致します。
※ あなたの保険設計は明和損害保険企画におまかせ下さい。

日本音楽集団指定損害保険代理店
明和損害保険企画
RM 小笠原 明男 オフィス☎937-0547
安田火災海上保険株板橋支社☎962-7311

永い伝統と経験から創り出される
豊富な"止水の和楽器"

しすいの
和楽器

新発売
明鏡笛(しの笛)
(正律管)
ベース三味線

止水の和楽器 発売元
明鏡楽器
〒130 東京都墨田区横川4-1-2 ☎(03)623-6349(代表)

創業・昭和8年
お琴・三味線の琴栄
●東海一の実績を誇る店

◇1階・店舗
◇三味線、尺八、舞扇、多数陳列
◇お琴、三味線、尺八の付属品、楽譜 多数取揃えてあります
◇2階・お琴展示場(ミニ舞台付)
◇お琴、桜目琴、20絃琴、17絃琴と豊富に取揃えてあります
◇ミニ舞台でお琴を弾いて下さい
〈お買い求め〉 クレジット販売をご利用下さいませ。(最高36回迄)
〈パンフレット〉 無料送付致します。

御琴・三味線専門
琴栄楽器店
代表・増田康壽
〒500 岐阜市司町九(大学病院前)
TEL〈0582〉⑥1826㊐

尺八
露秋

西田露秋
〒794 今治市新谷甲798-1
電話 (0898)48-1097・1257

祝・日本音楽集団創立25周年

聴いて下さる方々の耳と心の中に
これまでなかった新しく楽しい空間が
形成されますように——
池辺晋一郎

信じられない調和、
近年にない
特筆すべきレコード——
谷川しげひさ

きわめて新鮮な効果を
示しえた演奏——
黒田恭一

二重三重に
冒険的な意図と
貴重な意義を
もった内容——
石田一志

ボレロ

ジャパネスク

Japanesque
BOLERO
Pro Musica Nipponia

日本音楽集団
PRO MUSICA NIPPONIA

SIDE A
●ジム・ノペディ第1番〈エリック・サティ〉●ボレロ〈ラヴェル〉
●グノシェンヌ第1番〈エリック・サティ〉
SIDE B
●夢のあとに〈フォーレ〉●月の光〈ドビュッシー〉
●パスピエ〈ドビュッシー〉●シチリアーノ〈フォーレ〉

演奏：日本音楽集団
特別参加●箏：宮田まゆみ●篠笛：大澤永夫（十二音会）/池澤五郎（十二音会）
●胡弓：姜建平（北京中央音楽院副教授）/杜荣貴（北京歌舞団）
指揮：荒谷俊治／編曲：池辺晋一郎
★デジタル録音　録音：1987年6月29日-30日 於：東安市文化会館ホール

CD●K32X-4002 税込定価¥3,008 税抜価格¥2,920
MT■K28H-1031 税込定価¥2,637 税抜価格¥2,560
LP●K28A-4002 税込定価¥2,637 税抜価格¥2,560

1000年の時が育んだ
豊潤な音の響き!!

レトロ、エスニック、ニューエイジミュージック……
全てを包容し、かつ超越した新しい"楽の音"誕生!!

日本音楽集団

●発売元
キングレコード株式会社

舞鶴 Maizuru

邦楽商品券 舞鶴

日頃、邦楽ご愛好の皆様方のご要望にお応えし、
日本の音と心をつなぐ邦楽器店独自の商品券が登場いたしました。
邦楽に携わるお祝いや、
感謝のご贈答など、幅広くご利用ください。

東京都（区）

杉並区	梅一能坂 浜谷	☎(03)317311
杉並区	荻田邦楽器店	☎(03)3122220
杉並区	水琴	☎(03)3375846
杉並区	菊岡	☎(03)4410365
杉並区	菊岡 越坂	☎(03)3312987
杉並区	ぱち 東器店	☎(03)7152476
中央区	（有）雅	☎(03)4110007
中央区	熊谷家	☎(03)2416089
中央区	（有）熊谷邦楽器本店	☎(03)3311572
世田谷区	亀屋	☎(03)4292089
世田谷区	（有）丸正琴・箏	☎(03)4214671
大田区	亀屋邦楽器店	☎(03)7713666
大田区	石村屋	☎(03)7612218
大田区	菊屋	☎(03)7216236
江戸川区	高山邦楽器店	☎(03)6411476
中野区	今工房	☎(03)3319409
品川区	亀屋 越坂	☎(03)7612955
品川区	菊屋	☎(03)7212618
豊田区	山野屋	☎(03)3313007
北区	世古和屋	☎(03)9011066
豊島区	浅倉邦楽	☎(03)9417064
豊島区	菊屋 越坂	☎(03)9312250
目黒区	（有）琴七宝和楽器店	☎(03)7024481
渋谷区	藤屋邦楽器店（明治町）	☎(03)4012004
渋谷区	宮琴（公文）	☎(03)7311803
渋谷区	菊屋（恵比寿）	☎(03)7154543
文京区	博信堂	☎(03)9211704
文京区	和音楽器店	☎(03)9212866
文京区	東京邦楽器	☎(03)3111883
新宿区	笠原一次	☎(03)2091690
新宿区	菊岡邦楽器店	☎(03)2602087
練馬区	おとトの店 矢野	☎(03)9550802
練馬区	（株）村松屋	☎(03)9217508
練馬区	中武 越坂	☎(03)9557512
練馬区	梅屋邦楽器店	☎(03)9210808
練馬区	大田邦楽器店	☎(03)9772626
板橋区	平松邦楽器	☎(03)9631531
港区	石村屋	☎(03)4331508

東京都（市）

町田市	宮徳邦楽器	☎(0427)8912872
調布市	大西邦楽器店	☎(0424)8813333
三鷹市	（有）和春邦楽器	☎(0422)4734601
武蔵野市	北川邦楽器店	☎(0422)5312055
保谷市	邦琴 越坂	☎(0424)2313068
東村山市	菊屋	☎(0423)9414865
昭島市	三宮琴三味線店	☎(0425)4410867
福生市	（株）邦月	☎(0425)3515435
町田市	協琴 越坂	☎(0427)9235411
小川市	新谷堂	☎(0425)8127551
武蔵野市	菊岡邦楽器店	☎(0422)2216247
八王子市	邦月	☎(0426)2212264
八王子市	岡野邦楽器店	☎(0426)3417411

千葉県

千葉県八千代市	邦楽器店 藤	☎(0474)84[illegible]8020
千葉県船橋市	オトヤ邦楽器	☎(0474)69[illegible]6247
千葉県柏市	柏店	☎(0471)63[illegible]3270
千葉県銚子市	関口琴三味線店	☎(0479)24[illegible]1391
千葉県松戸市	和楽器 橋屋	☎(0473)61[illegible]5767
埼玉県春日部市	（株）オトヤ邦楽器	☎(0487)63[illegible]9607
埼玉県鶴谷市	新和邦楽器店	☎(0485)21[illegible]3005
埼玉県上尾市	池田邦楽器	☎(0487)74[illegible]9115
埼玉県川口市	竜子三味線店	☎(0484)41[illegible]3628
埼玉県浦和市	和琴琴三越店	☎(0485)41[illegible]3236
埼玉県大宮市	琴琴琴三味線店	☎(0486)41[illegible]5418
埼玉県上福岡市	浜口邦楽器	☎(0492)66[illegible]4348
埼玉県川越市	菊岡楽器店	☎(0492)22[illegible]5600
埼玉県東松山市	伊藤楽器店	☎(0493)22[illegible]4388

250店舗で

●日本全国でご利用いただける邦楽商品券●

「邦楽商品券舞鶴」は、北海道から九州まで全国に網羅されている約250店の取扱い店でご利用できます。
お引き換え期限もなく、取扱い店の商品、技術料、サービス料などとしても便利なお引き換えができます。
※お求めは、各取扱い店でどうぞ。

日本音楽集団 Nihon Ongaku Shudan (Pro Musica Nipponia)

代表　長沢勝俊
副代表　田村拓男
運営委員長　坂田誠山
事務局　奈良義章（局長）
　　霜島素子
監事　芹沢英雄

名誉団員　山田美喜子

団員連名

〈正団員〉

望月太八（笛）
西川清平（笛）
宮田耕八朗（尺八）
坂田誠山（尺八）
三橋貴風（尺八）
藤崎重康（尺八・笛）
竹井誠（尺八・笛）
米澤浩（尺八）
素川欣也（尺八）
味地慶司（胡弓・作曲）
野口美恵子（三味線）
太田幸子（三味線）
加藤洋（三味線）
簑田司郎（三味線）
田中悠美子（三味線）
半田淳子（琵琶）
田原順子（琵琶）
坂井敏子（箏・三味線・胡弓）
白根きぬ子（箏）
吉村七重（箏）
花房はるえ（箏・三味線）
宮越圭子（箏）
木村玲子（箏）
内藤洋子（箏）
熊沢栄利子（箏）
大島栄穂子（箏）
佐藤由香里（箏）
尾崎太一（打楽器）
堅田啓輝（打楽器）
高橋明邦（打楽器・指揮）
黒坂昇（打楽器）
細谷一郎（打楽器）
田村拓男（指揮・打楽器）
稲田康（指揮）
長沢勝俊（作曲）
内田とも子（作曲）
中島隆（楽器係）

〈準団員〉

水谷雅康（尺八）
水川寿也（尺八）
工藤哲子（三味線）
山田まゆ美（琵琶）
坂田美子（琵琶）
佐藤里美（箏）
島崎春美（箏）
久東琴子（箏）
高橋はるな（箏）
桜井智永（箏）
安武由香理（箏）
山田明美（箏）
前田文男（打楽器）
望月太喜之丞（打楽器）
秋岸意久（作曲）

〈研修生〉

添川清史（尺八）
坂口美香（三味線）
清水範子（箏）

協力団員　伊藤恵一
地方在住団員　田嶋恵美子

一九八九年三月三十一日現在

〈賛助会員〉

（株）みやこ編物
滝沢修　霜島邦子
野坂操寿　古川羽衣山
鶴田錦史　丹野井成郎
増田啓子

〈団友〉

青木誠　芹沢英雄
秋浜悟史　高野文子
荒谷俊治　田嶋直士
稲垣隆史　田中利光
小田切清光　鶴野和子
川崎祥悦　戸井昌造
菊地悌子　藤舎呂悦
楠知子　藤舎呂船
鞍掛昭二　仲俣申喜男
鹿沼広行　中村八大
佐藤敏直　野口鎮
芝祐靖　広瀬豊平
清水義矩　福田輝久
杉浦弘知　墓声晴由
砂崎知子　星旭
増田睦美
三木稔
宮本幸子
元橋康男
矢崎明子
柳家小三治
横山勝也
ディヴィッド・ローブ
ディヴィッド・ヒューズ
ヘンリー・バーネット
ラニィ・シェルダン
王燕樓
張暁輝

〈日本音楽協会支部〉

関西支部　田嶋直士　[redacted]
水戸支部　斉藤幸山　[redacted]
長野支部　佐藤幸宇山　[redacted]
山梨支部　郷晃　[redacted]
長崎支部　牧山雅楽郎　[redacted]
熊本支部　古川羽衣山　[redacted]
秋田支部　野口裕子　[redacted]
邦楽の会つばら事務局　[redacted]

二十五周年記念特別号の編集にあたって

日本音楽集団が創立二十五周年という一つの区切りを迎えるにあたって、写真やプログラムなどを盛込んだ年表を作ってみようということになりました。「たかだか二十五年ぐらいで大層な」という気持ちもなきにしも…。

編集は、定期演奏会を中心にして自主事業などをピック・アップしていくことになりましたが、定期演奏会だけでもすでに百七回をかぞえ、この間に生れた新曲は、おそらく二百は越えるでしょう。十四次をかぞえる海外公演、軽井沢で始まり西の岡山にまで広がった夏のアカデミー。年間百校をこえる学校公演、テレビ・ラジオ出演、オペラ・演劇・テレビドラマなどの音楽担当、数十枚におよぶレコード製作、機関誌「邦楽現代」の発行等々……。

振返ってみますとずいぶんと幅広く積極的に活動してきたものだと改めて思います。これらの事業を通じて出会うことができた国内外の立派な音楽家や素敵な聴衆。学校公演で出会った多くの学生たち。みなそれぞれに思い出があり一コマひとコマが浮かんでくるものばかりです。

この二十五年間に生れたプログラムやチラシ、写真などの数は膨大なものであり、とてもこの小冊子に収められるものではないことをご理解頂きたいと思います。日本音楽集団が今後創立三十年を迎えることができた時には、さらに充実した三十年史を編纂したいと考えています。この度は私たちにとっての貴重な二十五年をご覧頂けたら幸いです。広告をくださるなど、ご支援頂いた多くの方々に心よりお礼申し上げます。

— 編集部 —

日本音楽集団事務所■〒151東京都渋谷区笹塚3-17-1滝沢ビル302☎〇三-三七八-四七四一 FAX〇三-三七六-二〇三三

邦楽現代 *Pro Musica Nipponia* 第22号
定価　五〇〇円
一九八九年四月十日発行
発行所　日本音楽集団
東京都渋谷区笹塚3-17-1　滝沢ビル302
〒151　電話〇三-三七八-四七四一
発行責任者　田村拓男
印刷所　光琳社

真山
日本の響
真山銘尺八
〒561 豊中市服部本町5丁目5-6 TEL(06)863-0564
デザイン 水谷繁

祝・日本音楽集団創立25周年

箏

二十絃箏

箏を愛するすべての人の繊細な感情を忠実に音に表現するために、楽器の本質を追求した箏

日本音楽集団推薦

琴光堂和樂器店

東京都目黒区碑文谷2-19-15 TEL (792) 8481

日本の音、その磨きぬかれたひびき

あなたも手軽に尺八が吹けます

尺八リコーダー